

公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター

平成27年度事業報告書

# 目 次

・はじめに	・ ・ 1
・ I e-PORT2.0 の推進	・ ・ 2
1 北九州 e-PORT 推進機構の運営	・ ・ 3
(1) 北九州 e-PORT 推進機構の運営	・ ・ 3
(2) 課題解決を担う人材の育成	・ ・ 6
(3) 情報基盤等の整備	・ ・ 7
2 事業化支援	・ ・ 8
(1) 地域課題解決型ビジネス創出事業	・ ・ 8
(2) 農業プロジェクト	・ ・ 10
(3) 介護プロジェクト	・ ・ 11
3 起業支援	・ ・ 12
(1) 創造的デジタルものづくり支援事業	・ ・ 12
(2) 北九州デジタルクリエイターコンテスト	・ ・ 15
(3) エムサイト運営	・ ・ 15
4 その他事業	・ ・ 17
(1) コミュニティ創造支援	・ ・ 17
(2) 北九州情報サービス産業振興協会の運営支援	・ ・ 17
(3) ICT 研究開発関連団体との連携	・ ・ 17
(4) 広報活動	・ ・ 18
(5) その他	・ ・ 18
II 財団ビルの運営	・ ・ 19

# 平成27年度 事業報告

## はじめに

公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター（HMC）は、地域産業の活性化、住民生活の利便性向上を目的に、ICTを活用した地域産業の高度化、新規事業や雇用の創出、地域経済社会の発展等のために様々な施策を実施してきた。

平成27年度は、「北九州e-PORT構想2.0」（以下、e-PORT2.0という）の目的である「ICTサービスの創出による北九州地域における地域課題の解決」の実現のため、北九州e-PORT推進機構の運営に注力し、パートナー会員として68団体の加入を得るとともに様々な企業等から22件の相談持込があった。

また、重点プロジェクトとして先行的に取り組んでいた「認知症高齢者徘徊対策事業」においては、検索用スマートフォンアプリケーションを開発し、徘徊者検索模擬訓練における技術実証を実施した。「公共施設管理運営システム構築事業」、「農業プロジェクト」においては、ICTを活用したプロトタイプシステムを開発し、次年度以降の実証・実現の準備が完了した。

今後とも、e-PORT2.0に基づき、地域の様々な知恵や技術力、資力を結集することにより、ICTサービス提供事業者と一体となって、地域課題解決や地域経済の発展を図る取組みを推進し、具体的な成果を上げることを目指していく。

# I e-PORT2.0 の推進

## 1 北九州 e-PORT 推進機構の運営

### (1) 北九州 e-PORT 推進機構の運営

e-PORT2.0 の運営主体となる北九州 e-PORT 推進機構を設立し、本構想を共に推進する協力企業、大学等のパートナー会員を募り推進体制の強化を図った。

また、様々なイベント等を通じて事業相談の募集を行うとともに、e-PORT2.0 の広報、啓発活動を積極的に行った。

#### ① 北九州 e-PORT 推進機構の設立

##### ア 設立発表会

e-PORT2.0 の新たな推進組織として、北九州 e-PORT 推進機構を設立し、「北九州 e-PORT 構想 2.0」発表会を開催した。

日 付： 平成 27 年 4 月 22 日（水）

場 所： リーガロイヤルホテル

参加者： 73 名

##### イ 顧問会の開催

平成 27 年度事業進捗ならびに平成 28 年度事業方針について顧問会に報告し、意見をいただいた。

日 付： 平成 28 年 2 月 19 日（金）

場 所： ヒューマンメディア財団ビル 2 階「セミナールーム」

##### ウ 第 1 回北九州 e-PORT パートナー総会及び交流会の開催

北九州 e-PORT 推進機構の平成 27 年度実績及び平成 28 年度活動方針について、事務局から北九州 e-PORT パートナーに対して説明を行うため、e-PORT パートナー総会を開催するとともに、e-PORT パートナー間の情報交換、ビジネス連携の促進等を目的とした交流会を開催した。

日 付： 平成 28 年 3 月 16 日（水）

場 所： ヒューマンメディア財団ビル 1 階「マルチメディアホール」

参加者： 51 名

## ② e-PORTパートナー加入状況

e-PORT2.0に基づき、地域課題解決を目指す支援対象者へのサービス提供や支援メニューの充実を図るための、産学官民金の人的ネットワークを広く形成するパートナー候補となる企業・団体等を訪問し、広く加入を呼びかけた結果、3月末時において、産学官民金68団体の加入があった。

(内訳)

産業界	学術機関	官公庁	民間団体	金融機関
44団体	6団体	11団体	2団体	5団体

※詳細は別紙参照

## ③ 事業相談の持込

潜在的な地域課題(ニーズ)の発掘や地域企業等が保有する技術スキル(シーズ)情報の収集、e-PORT2.0のスキームを活用した新ビジネス創出支援の実施のため、4月より事業相談の受付を開始し、e-PORT交流会やフォーラム等の様々な機会を通じて応募を呼びかけたところ、3月末時点において22件の持込があった。

持ち込まれた案件について、個別にヒアリングを実施し、必要な支援等を実施した。

(事業相談の内訳)

新規事業	補助金申請支援	販路拡大支援	イベント関連	技術紹介	マッチング支援
9件	5件	3件	2件	2件	1件

(支援の実施状況)

	新規事業	補助金申請支援	販路拡大支援	イベント関連	技術紹介	マッチング支援
完了(8件)	2件	3件	0件	2件	0件	1件
継続中(14件)	7件	2件	3件	0件	2件	0件

新規事業関連の相談については、市内製造業からの社内新規プロジェクトの立上げに関する意見交換の実施依頼への対応、セミナー開催による農漁業ITベンチャーの新規事業推進への協力をを行い2件が完了し、人流計測センサーの開発、歩行者系案内標識のデジタル化などの7件について継続して支援等を行っている。

#### ④ 北九州e-PORTプロモーション推進事業

##### ア 展示会等への出展

e-PORT 2.0の取り組みの紹介、パートナー企業等の獲得を目的に次の展示会へ出展した。

名称	概要
第2回地方行政ICTフォーラム	会期：平成27年8月18日（火）～19日（水） 会場：福岡ファッションビル8階（福岡市博多区博多駅前） 主催：地方行政ICTフォーラム九州実行委員会 内容：ブース展示、e-PORT 2.0仕組みの説明
北九州市ビジネスセミナーin 東京（協賛）	日付：平成27年10月29日（木） 場所：日経ビル 参加者：166名 内容：ブース展示、市長講演
第9回KVICフェア	会期：平成27年11月18日（水） 会場：北九州テレワークセンター 主催：北九州ベンチャーイノベーションクラブ 内容：ブース展示、e-PORT 2.0仕組みの説明

##### イ イベント等の開催

パートナー会員を募るとともに、事業者間のマッチングを創出するため、次のとおりイベント等を開催した。

名称	概要
「北九州e-PORT構想2.0」発表会～e-PORTチャレンジ～	日付：平成27年4月22日（水） 場所：リーガロイヤルホテル 参加者：73名
北九州e-PORT推進機構ワークショップ	日付：平成27年5月28日（木） 場所：ヒューマンメディア財団「マルチメディアホール」
e-PORTパートナー説明会 兼 推進機構事務局会議	日付：平成27年7月1日（水） 場所：ヒューマンメディア財団「マルチメディアホール」 参加者：21名
北九州e-PORTフォーラム	日付：平成27年8月5日（水） 場所：ホテルクラウンパレス小倉 参加者：84名
e-PORT 2.0個別説明会	日付：平成27年8月28日（金）、9月2日（水） 場所：ヒューマンメディア財団「マルチメディアホール」 参加者：8月28日（6名）、9月2日（16名）
北九州e-PORTマッチングセミナー	日付：平成27年11月25日（水） 場所：ホテルクラウンパレス小倉 参加者：79名

ウ ホームページ、SNS運用・管理

(ア) 北九州e-PORTホームページの改修

e-PORT 2.0策定に伴い、ホームページの改修を行った。

(イ) 北九州e-PORTホームページの維持管理

各種イベントや総会・交流会等推進機構の情報配信を行った。

(ウ) 北九州e-PORT推進機構Facebookページの維持管理

新規にFacebookページを開設し、各種イベントや総会・交流会等推進機構の情報配信を行った。

#### ⑤ アイデアソン・ハッカソンの開催

当財団の職員及び研究員の全員が参加し、e-PORT 2.0で取り組む地域課題をテーマとしたアイデアソンを開催した。

13件のアイデアが提案され、その中から、小倉駅新幹口に北九州スタジアムが平成29年3月にオープンすることを見据えて、IoTを活用した、まちのにぎわい創出を目的とする「北九州IoTプラットフォーム構築」のプロジェクトが発足し、平成28年度中に実証実験を行う予定としている。

## (2) 課題解決を担う人材の育成

北九州地域の情報サービス系企業における既存業務の高度化に加え、新たな技術トレンド、システム形態や多様化するアプリケーション開発への対応を促進するため、それを支える高度なIT技術者の育成を目的として、研修・講座を開催した。

### ① 実践型ICT人材育成講座

実践型ICT人材に必要な、マネジメント・マーケティング・最新技術・経営/財務・人事等のビジネスに直結する実務やスキル・知識、将来的に企業内での活躍や起業家として自立できるスキルの習得を目的として、グループワーク・ハンズオンを用いながら全11回のシリーズ講座として実施した。

実施期間： 全11回（平成27年9月から2月の間）

参加人数： 38人

### ② 高校生のためのスマホアプリ開発体験合宿

将来のICT分野に携わる人材を育成するために、高校生を対象とした合宿型のアプリ開発研修を2泊3日で行い、企画・開発・プログラミング・デザイン・プレゼンテーションなどアプリケーション開発におけるすべてのプロセスを体験できる機会を提供した。

実施期間： 平成27年9月20日～22日

参加人数： 13人

### ③ 中学生・高校生を対象としたプログラミング体験講座

中学生・高校生を対象として、アプリやゲームのプログラミング、映像とプログラミングを組み合わせたメディアアートなど、ICTを使ったものづくり体験を、国内最大級の中学生・高校生を対象としたプログラミングITキャンプ/スクールを実施する「Life is Tech!」の一日体験講座のプログラムを実施した。

実施期間： 平成27年10月4日

参加人数： 20人

### ④ はじめてのAndroidアプリ開発体験講座

Javaを使った簡単なAndroidアプリの開発とGoogle Playストアへの出品を行い、プログラミングやアプリ開発の楽しさを知ってもらうことで、将来アプリ開発に携わる人材の育成を図った。

実施期間： 平成27年11月7日・14日・21日・28日

参加人数： 9人

### (3) 情報基盤等の整備

#### ① 地域情報基盤の整備

e-PORT 2.0において、事業体を支援する仕組みの一つとして地域情報基盤の整備を行った。

地域情報基盤の整備にあたり、データの所在やデータ変換ツール等の調査及び基本計画を策定し、「平成27年度北九州市地域情報基盤構築事業補助金」を活用したポータルサイトの構築を完了した。

## 2 事業化支援

### (1) 地域課題解決型ビジネス創出事業

平成27年度はe-PORT2.0における重点プロジェクトとして「人とモノの高齢化対策」をテーマとした地域課題解決型ビジネス創出事業に先行的に取り組んだ。

#### ① 認知症高齢者徘徊対策事業

ウェアラブルデバイスを活用した認知症高齢者徘徊に有効なサービスモデルの構築を目的として、捜索用スマートフォンアプリケーションの開発及び徘徊者捜索模擬訓練において技術実証を行った。

##### ア 黒崎商店街内におけるネットワーク検知精度計測

概要： 開発したアプリ・ネットワークの検知精度の実用性の確認

日付： 2015年10月24日(土)

※「もりフォーラム」内イベントとして実施

場所： 黒崎熊手通り商店街

主催： もりフォーラム実行委員会

体制： 株式会社 Skeed (実証主体者)、よつば (商店街内ネットワーク設置協力)、HMC (連携支援・イベント当日受付協力など)

参加者： 13名 (タグ貸し出し件数)

##### イ 児童・高齢者向け見守りシステムの地域普及実証

概要： 開発した見守りシステムが地域普及可能かを地域内に見守り機器を無償配布する形で検証し、継続実証中

日付： 2015年12月～継続中

場所： 小倉南区守恒校区全域

主催： 株式会社 Skeed

体制： 株式会社 Skeed (アプリ開発、システム構築)、守恒 SOS ネットワーク会議 (広報協力)、認知症草の根ネットワーク (広報協力)、守恒市民センター (地域受付)、HMC (連携支援、機材購入など)

規模： センサー設置数25地点、タグ貸し出し件数5件

##### ウ 認知症徘徊捜索模擬訓練における実証

概要： イで地域普及した見守りシステムの認知症徘徊捜索への有効性を確認した。捜索対象者6名のうち4名が見守り用機器(タグ)を保持し、保持しない場合との発見までの差を検証

した。

日付： 2016年2月13日（土）

場所： 小倉南区守恒校区全域

主催： 守恒 SOS ネットワーク会議

体制： 守恒 SOS ネットワーク会議（イベント全体主催者、広報等）、株式会社 Skeed（実証主体者）、HMC（説明対応、当日システム運用支援）

参加者： 約120名、うちスマホアプリ導入数15名

## ② 高齢者スマートヘルスケア事業

アクティブシニアとして活躍できる高齢者を増やすことを目的に、ICT を活用したスマートヘルスケアに有効なサービスの検討を行った。

### ア 口腔ヘルスケア事業

九州歯科大との連携により、歯周病菌検査デバイス等を用いた口腔ヘルスケア事業に関する検討を行った。

### イ ヘルスケアビジネス創出支援

介護予防等のため行動を促進するためのインセンティブプログラムについて、北九州市の関連部署との検討を行った。

## ③ 公共施設管理運営システム構築事業

公共施設の効率的な利用を促進するため、施設の持つ機能や利用状況をリアルタイムに把握するための管理システムの開発を目的として、北九州市の関連部署等との検討を行い、プロトタイプシステムの開発が完了した。

### ア 検討会の実施体制

- ・実施期間： 平成28年10月～平成29年3月（月1回開催）
- ・メンバー： HMC（事務局）、北九州市（推進・検討主体）、施設管理団体（協力）、IT事業者（システム提案・開発）、金融機関（事業アドバイザー）

### イ プロタイプシステムの機能概要

施設管理者向けの内部用システムで、施設利用における予約や実績を登録することができ、利用実態が可視化されるシステム。

- ・施設予約・稼働登録機能  
施設管理者が日々の予約・実績を登録する機能
- ・施設予約・稼働参照機能

- 施設管理者が利用実態を照会する機能
- ・ 部屋/サービス等マスタ登録機能
  - 部屋のカパシティ等を設定する機能
- ・ システムマスタ管理機能
  - 施設、担当者、集計に必要なコード等を設定する機能
- ・ 認証/ユーザ設定機能
  - システム利用者の情報を設定するセキュリティ機能

## (2) 農業プロジェクト

平成27年度は、有識者や実践農家で構成するワーキンググループにおいて、ICTを活用した新規就農者の育成と自立支援に関するサービスモデルの評価を実施し、プロトタイプシステムを開発した。

また、農業生産者とIT事業者のネットワーク拡大のためのセミナーを開催した。

### ① ICTを活用した農業支援システムのプロトタイプ開発と実証

- ・ 営農日誌&収益見える化ツール（えいのうのいえー1）
  - 農業指導者の意見を取り入れながら、中小農家や新規就農者に最適な、スマートフォンのアプリを応用した経営支援システムの検討を行い、基本設計まで完了した。
- ・ 地産地消型の野菜流通支援ツール（えいのうのいえー2）
  - プロトタイプシステムを開発し、地元農家をはじめ、市内の飲食店・商店街・ホテルなどに展開するため、広報活動を実施し、黒崎の商店街において実用レベルでの売買の検証を行った。

### ② 農業分野へのICTの利用普及を図るセミナーの開催

第4回「農業とICTのマッチングセミナーin北九州」

テーマ：都市農業の可能性を考える

日程：平成28年2月10日（木）

場所：ヒューマンメディア財団「マルチメディアホール」

参加人数：約130名

内 容：

- ・ 「地産地消の取組と食の魅力創造・発信」
  - 北九州市産業経済局 食の魅力創造・発信室
- ・ 「半農半Xという生き方」
  - 地域力創造アドバイザー 塩見直紀氏
- ・ 「失敗しない企業の農業ビジネス参入とは？」
  - 銀座農園株式会社 代表取締役社長 飯村 一樹氏

- ・「データを活用した次世代農業経営」  
テラスマイル株式会社 代表取締役社長 生駒祐一氏
- ・すぐに役に立つ農業ICTの紹介  
家庭菜園SNS「菜園ナビ」  
農業法人へのICT導入事例  
中小農家応援ツール「えいのうのいえ」

### (3) 介護プロジェクト

ICT 利活用による介護現場の負担軽減並びに情報共有の実現と、安全・安心で、かつ快適な福祉サービスの実現を目的として、平成 25 年度に地域企業と共同開発した介護ヘルパー向けタブレットシステム「スマートヘルパー」の利用拡大のため、展示会における事業紹介等の支援を引き続き実施した。

### 3 起業支援

#### (1) 創造的デジタルものづくり支援事業

ものづくりの街を標榜する北九州市において、3Dプリンターやレーザーカッター等のデジタルものづくり関連の機材を導入する大学や施設が増えていることから、地域が持つ機材や人材を活用して、デジタルものづくりコミュニティの支援や、デジタルものづくりのワークショップ、イベントの開催することで、新しいデジタルものづくり産業の振興を図った。

##### ① デジタルものづくりコミュニティの支援

市内外の大学、企業、施設、団体等の人材、機材、部材等を活用したデジタルものづくりコミュニティからビジネスを生み出すため、「クリエイティブ・ファブ・プロジェクト」(創造的ものづくり)を立ち上げ、ハンガーをテーマとしたハッカソン「ハンガソン」を実施した。

##### 【ハンガソン (ハンガーがテーマのハッカソン)】

日時： 平成27年9月6日 (日) 10:00~18:00

平成27年10月3日 (土) 10:00~17:00

場所： fabbit (北九州市小倉北区浅野 2-14-3)

講師： 情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 小林 茂 教授

ファシリテーター： マルソー産業(株)、(株)IDCフロンティア

サポーター： 安川情報システム(株)、(株)ぐるり、北九州工業高等専門学校、西南女学院大学短期大学部、西日本工業大学、北九州イノベーションギャラリー、(株)WAKE

参加者： 20人 (5人×4チーム) 福岡県内、山口県からの参加者

協力施設： fabbit、西日本工業大学、北九州イノベーションギャラリー

成果物： Aチーム ケアハンガー (臭いでクリーニング時期を通知)

Bチーム アスリートハンガー (さぼり防止機能付き)

Cチーム パーソナルハンガー (旅先での小物整理)

Dチーム おかえりハンガー (子ども見守り)

## ② デジタルものづくりワークショップの開催

地域の大学等と連携して、デジタルものづくりワークショップを開催した。

### ア 夏休み子どもデジタル教室の開催

#### ○レーザーカッター初級

日 時： 平成27年8月18日（火）13:00～16:00

場 所： 西日本工業大学 地域連携センター

講 師： 西日本工業大学デザイン学部

参加者： 11人（小学4年～中学3年）

内 容： パソコンでデザインした小物をレーザーカッターで制作

#### ○レーザーカッター中級

日 時： 平成27年8月20日（木）13:00～16:00

場 所： 西日本工業大学 地域連携センター

講 師： 西日本工業大学デザイン学部

参加者： 8人（小学4年～中学3年）

内 容： パソコンでデザインした小物をレーザーカッターで制作

#### ○スクラッチプログラミング

日 時： 平成27年8月21日（金）13:00～16:00

場 所： 西日本工業大学 小倉キャンパス PC教室

講 師： 西南女学院大学短期大学部

西日本工業大学デザイン学部

参加者： 17人（4年～中学3年）

内 容： ブロックを並べることでプログラミングできる「スクラッチ」を使いオリジナルゲームを制作

### イ ガレージバンドスクールの開催

日 時： 平成27年8月21日（金）13:00～16:00

場 所： 西日本工業大学 小倉キャンパス PC教室

講 師： MediaPlanet 株式会社

西日本工業大学デザイン学部

参加者： 11人（一般の大人）

内 容： 音楽制作ソフトウェア「ガレージバンド」を使ったオリジナル音楽制作

### ③ デジタルものづくりイベントの開催

デジタルものづくりクリエイターの展示・交流イベント「北九州モノカフェ2015」を開催し、出展団体数55団体、来場者数8,000人と、昨年度を上回る規模となった。九州・山口、関西、関東等からの出展も多く、新しい交流やビジネスが生まれる機会となった。

#### 【北九州モノカフェ2015概要】

- 日 時： 平成27年11月7日（土） 12:00～17:30  
平成27年11月8日（日） 10:00～16:00
- 場 所： 西日本総合展示場新館C区画
- 入場料： 無料
- 出展者： 55団体
- 来場者： 8,000人（2日間）
- 主 催： （公財）九州ヒューマンメディア創造センター
- 共 催： （公財）西日本産業貿易コンベンション協会、北九州市
- 後 援： 北九州市教育委員会、北九州商工会議所、  
NHK北九州放送局
- 内 容： 主なイベント、ワークショップ
- ・技術力の低い人限定ロボコン in 九州（通称：九へボコン）
  - ・屋内ドローンレース（FPVレーシングジャパン）
  - ・プロジェクションマッピング×ファッションショー
  - ・明和電機社長 土佐 信道 氏 トークショー  
「また新しいものを作ってしまった！」
  - ・音楽ステージ  
（竹凜共振と西日本工業大学による竹楽器演奏）
  - ・ロボットバトル
  - ・羽ばたき飛行機ワークショップ
  - ・電子楽器 littleBits ワークショップ
  - ・北九州デジタルクリエイターコンテスト2015 大賞  
「時空間のしっぽ」
- 主な展示： ロボット、ドローン体験、九州のファブラボ大集合、電子工作、電気自動車、3Dプリンター、羽ばたき飛行機、プロジェクションマッピング、水ロケット、楽器 等

## (2) 北九州デジタルクリエイターコンテスト

メディアコンテンツ制作人材の発掘と育成を図るため、デジタルクリエイターコンテスト2016を実施した。

また、入賞作品発表用ホームページや作品集DVDの作成、市内の大型ビジョンで作品の上映を行い、コンテストの認知度向上とクリエイターの活躍の場の拡大を図った。

### ① 開催概要

- ・募集受付期間：平成27年12月24日～平成28年1月31日
- ・募集テーマ：想像的いきものたち Imaginary Creatures
- ・ジャンル：静止画、動画、WEB、ガジェット、インスタレーション
- ・応募作品：207点（前年度129点）
- ・公開審査会：平成28年2月20日
- ・場 所：西日本工業大学（小倉キャンパス）
- ・選 定：入賞15点、入選22点
- ・審査員：中谷 日出 氏（審査委員長/NHK解説委員）  
小林 茂氏（情報科学芸術大学院大学/教授）  
宝珠山 徹 氏（西日本工業大学デザイン学部/准教授）  
山田 圭子 氏（市内在住漫画家）  
白川 東一 氏（クリエイター）

### ② 発表展示

コンテストの認知とクリエイターの活躍の場を拡大するため、作品展示等を行った。

- ・作品展示会：北九州市漫画ミュージアム（平成28年3月26日～）
- ・ビジョン放映：小倉駅JAMビジョン（平成27年3月）
- ・作品集DVD作成

## (3) エムサイト運営

### ① エムサイト東田の運営

地域の映像系・コンテンツ系企業に対し、財団ビルに設置した映像編集室、ナレーションブース、セミナー室やビデオカメラ、高輝度プロジェクター、マイクなどの設備を低廉な価格で貸し出し、コンテンツ産業の支援を行った。

[施設・機材貸し出し実績]

編集スタジオ	レコーディングスタジオ	セミナー室	機器利用
111回	8回	16回	89回

[貸出回数・利用金額遷移]

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用回数	711回	357回	205回	224回
利用金額	¥2,840,597	¥1,546,450	¥380,340	¥407,750

※平成24年度は市制50周年記念事業分貸出（¥1,550,000）を含む。

② エムサイトAIMの運営

地元の映像系・コンテンツ系企業に対し、AIM7階のインキュベートルームを提供し、家賃補助や北九州テレワークセンターと連携した経営相談等の支援を行った。

平成27年度当初は、インキュベート入居企業が7社であったが、そのうち（株）SCAiが平成28年2月に退去、（株）ダブルスキルが平成28年3月で退去、APリファレンス（株）は平成28年4月から一般入居となったため、平成27末でインキュベート入居は全て終了となった。こうした状況を踏まえ、平成28年度末でメディアインキュベートルームエリアを廃止することとした。

## 4 その他事業

### (1) コミュニティ創造支援

#### ① 九州工業大学のPBL (Project-Based Learning) との連携

九州工業大学のPBLとの連携により、次世代を担う大学生の人材育成の支援を行うとともに、その成果を新たなサービスの創出につなげる検討を行った。

### (2) 北九州情報サービス産業振興協会 (K I P) の運営支援

北九州地域の情報サービス関連企業で組織されたK I P (北九州情報サービス産業振興協会)の事務局を担い、交流事業、人材育成事業等の活動を支援した。

[K I P会員数]

平成28年3月31日現在

総会員	うち正会員	うち賛助会員	うち団体会員
55	30	24	1

[K I Pの主な事業]

- ・交流事業：K I Pサロン (講演会、交流会)、相互訪問事業、
- ・人材育成事業：K I Pスクール、C #入門コース、J a v a入門コース  
情報セキュリティセミナー

[K I P正会員 (29社) の従業員数]

平成27年4月1日時点	平成28年4月1日時点	増減	新規雇用数
1,852	1,844	-8	172

### (3) I C T研究開発関連団体との連携

I C T利活用の最新の動向・事例を把握するとともに、産学官の連携を推進するため、九州インターネットプロジェクト (Q B P)、(社)九州テレコム振興センター (K I A I) 等、I C T関連団体との連携を行い、その活動を支援した。

#### (4) 広報活動

当財団の事業や活動状況を分かり易くタイムリーに掲載した情報誌「H U - D i A」を発行した。

[H U - D i Aの概要]

発行月 平成 27 年 6 月 (第 24 号)

部 数 1,200 部

配布先 情報関連企業、各種団体、賛助会員、K I P 役員・評議員 他

#### (5) その他

その他、デジタル就職活動支援事業及びコミュニティ創造支援（「わいわい八幡」の推進）などの事業を継続して実施した。

## II 財団ビルの運営

情報産業の集積活性化のため、財団ビルの管理運営（テナント企業へのオフィス賃貸、並びにマルチメディアホール及びセミナールームの貸出サービスなど）を行った。

平成 27 年度は外壁の経年劣化に伴う大規模改修工事を実施した。

[参 考] 財団ビルの入居状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

○入居企業・・・12 社（入居率 98%）

○就業者数・・・約 190 名

フロア	入居企業名
7 階	新日鉄住金ソリューションズ（株）
6 階	セイコーエプソン（株）
5 階	セイコーエプソン（株）
4 階	セイコーエプソン（株）
3 階	（株）インフォメックス、データキューブ（株）、（株）ソフトサービス、 （株）九州テン、ビズ・コレジオ（株）、（株）ワンビシアーカイブス
2 階	富士電機（株）、北九州市、T I G（株）、 <u>（株）アクトシステム</u> <sup>*1</sup>
1 階	ヒューマンメディア財団

（※1 平成 28 年 1 月入居）

## 1 「e-PORTパートナー」一覧（非公開団体除く）

平成28年3月末現在

No	法人・団体名	分類
1	エアドライブ株式会社	産
2	介護ぶらす	
3	See&アセット合同会社	
4	ジェイズ・コミュニケーション(株)	
5	システージ株式会社	
6	システムエース株式会社	
7	ソフトバンク・テクノロジー株式会社	
8	田中工業株式会社	
9	萩原設計工業株式会社	
10	ビープラッツ株式会社	
11	ひまわり社会保険労務士事務所	
12	フィールド・フロー株式会社	
13	リンクソフトウェア株式会社	
14	株式会社 IDC フロンティア	
15	株式会社アドックインターナショナル	
16	株式会社佳音	
17	株式会社クレオフォートソリューションズ	
18	株式会社コア	
19	株式会社 coki	
20	株式会社芝川商店	
21	株式会社 Sora プロジェクト	
22	株式会社ソルネット	
23	株式会社タイズ	
24	株式会社高田工業所	
25	株式会社ドーワテクノス	
26	株式会社日本統計センター	
27	株式会社ビー・エス・エス	
28	株式会社ランテックソフトウェア	
29	株式会社レッドマルス AD ベンチャー	

No	法人・団体名	分類
30	株式会社ワイズ・コンピュータ・クリエイツ	産
31	株式会社安川情報九州	
32	株式会社安川電機	
33	合同会社顧客の声 活用社	
34	有限会社 BOND	
35	北九州 e-PORT イニシアティブ ・新日鉄住金ソリューションズ(株) ・安川情報システム(株) ・ミシマ OA システム(株) ・(株)インフォメックス ・ソフトバンクモバイル(株) ・西日本通信電話(株) ・日本テレコムインフォメーションサービス(株)	学
36	学校法人産業医科大学	
37	公立大学法人九州歯科大学	
38	公立大学法人北九州市立大学	
39	国立大学法人 九州工業大学	
40	北九州工業高等専門学校	官
41	社会起業大学・九州校	
42	九州経済産業局地域経済部情報政策課	
43	九州総合通信局	
44	北九州市建築都市局区画整理課	
45	北九州市産業経済局新産業振興課	民
46	北九州市産業経済局新成長戦略推進室産業政策課	
47	北九州市保健福祉局地域支援部健康推進課	
48	公益財団法人福岡県中小企業振興センター	
49	福岡県ベンチャービジネス支援協議会	
50	コワーキングスペース秘密基地	金
51	よつば	
52	株式会社西日本シティ銀行	
53	株式会社福岡銀行	
54	株式会社北九州銀行	
55	山口キャピタル株式会社	
56	福岡ひびき信用金庫	

## 2 北九州 e-PORT プロモーション推進事業

### <展示会一覧>

名称	概要
第2回地方行政ICTフォーラム	<p>会 期：平成27年8月18日（火）～19日（水）</p> <p>会 場：福岡ファッションビル8階（福岡市博多区博多駅前）</p> <p>主 催：地方行政ICTフォーラム九州実行委員会</p> <p>出展内容：ブース展示、e-PORT 2.0 仕組みの説明</p>
北九州市ビジネスセミナー in 東京（協賛）	<p>日 付：平成27年10月29日（木）</p> <p>場 所：日経ビル</p> <p>参加者：166名</p> <p>【第1部】</p> <p>講演 『今後のIT総合戦略と地方創生』 内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室 内閣参事官 犬童 周作 氏</p> <p>【第2部】</p> <p>『市内立地企業のビジネスモデル』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT：新日鉄興和不動産(株)、新日鉄住金ソリューションサービス(株)</li> <li>・ファシリティ：(株)IDC フロンティア、(株)ワンビシアーカイブス</li> <li>・ホスピタリティ：i6コンサルティンググループ(株)、富士通コミュニケーション サービス(株)、(株)エヌ・ティ・ティマーケティングアクト</li> </ul> <p>【第3部】</p> <p>講演 『北九州市でのビジネス展開について』 北九州市長 北橋 健治</p> <p>【交流会】</p>
第9回KVICフェア	<p>会 期：平成27年11月18日（水）</p> <p>会 場：北九州テレワークセンター</p> <p>主 催：北九州ベンチャーイノベーションクラブ</p> <p>出展内容：ブース展示、e-PORT 2.0 仕組みの説明</p>

<開催イベント一覧>

名称	概要
<p>「北九州 e-PORT 構想 2.0」発表会～e-PORT チャレンジ～</p>	<p>日 付：平成 27 年 4 月 22 日（水）</p> <p>場 所：リーガロイヤルホテル 4 階「サファイア」</p> <p>参加者：73 名</p> <p><b>【第 1 部】 「北九州 e-PORT 構想 2.0」発表会</b>          ・「北九州 e-PORT 構想 2.0」について          （公財）九州ヒューマンメディア創造センター          事務局長 山田 修司</p> <p>・「e-PORT チャレンジ」事例紹介          (1) 平成 27 年度重点プロジェクト          認知症高齢者徘徊対策事業          (株)Skreed 柴田 功一 氏</p> <p>(2) 事業化支援「農業プロジェクト」          (公財)九州ヒューマンメディア創造センター          専任主幹研究員 林 俊夫</p> <p>(3) 地域情報基盤サービス          「ローカルクラウドファンディング」          コワーキングスペース秘密基地          代表 岡 秀樹 氏</p> <p>(4) e-PORT サービス基盤強化の取組み          (株)ワンビシアーカイブス          九州支店長 室 雅晴 氏</p> <p><b>【第 2 部】 記念講演</b>          講演 1：「オープンデータに関する政府の動向と地方公共団体          への普及取組」          内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室          参事官補佐 大竹 俊行 氏</p> <p>講演 2：「総務省における情報通信政策とイノベー          ション創出に向けた取組」          総務省情報通信国際戦略局技術政策課          課長補佐 篠澤 康夫 氏</p> <p><b>【第 3 部】 懇親会</b></p>

名称	概要
北九州 e-PORT 推進機構ワークショップ	<p>日付：平成27年5月28日（木）  場所：ヒューマンメディア財団ビル1階「マルチメディアホール」</p> <p>①「e-PORT 推進機構の基本的な考え方」  講師：北九州 e-PORT 推進機構 機構長 大橋 正和</p> <p>②「知識移転によるビジネスモデルについて」  講師：多摩大学 客員研究員 亀井 省吾 氏</p>
e-PORT パートナー説明会 兼 推進機構事務局会議	<p>日付：平成27年7月1日（水）  場所：ヒューマンメディア財団ビル1階「マルチメディアホール」</p> <p>参加者：21名</p> <p>【第1部】 e-PORT パートナー説明会  ・ e-PORT パートナーに関する説明および意見交換</p> <p>【第2部】 推進機構事務局会議  ・ e-PORT 2.0 フェーズ1 アクションプラン案説明および意見交換  ・ 全体を通じた意見交換</p>
北九州 e-PORT フォーラム	<p>日付：平成27年8月5日（水）  場所：ホテルクラウンパレス小倉</p> <p>参加者：84名</p> <p>・ 「e-PORT パートナー」について  (公財)九州ヒューマンメディア創造センター  事務局長 山田 修司</p> <p>・ 「入会済パートナーのご紹介」  (公財)九州ヒューマンメディア創造センター  藤井 祉央</p> <p>・ 「パートナーが e-PORT に期待すること」</p> <p>(1) 「e-PORT 1.0 で整備されたデータセンターとクラウド基盤について」  新日鉄住金ソリューションズ(株)  九州営業グループリーダー 宗森 敏也 氏</p> <p>(2) 「地域内ニーズの育て方・プロジェクト形成について」  コワーキングスペース秘密基地 代表 岡 秀樹 氏</p> <p>(3) 「キャピタルによる投資評価基準とファンドの紹介」  山口キャピタル(株) 代表取締役 森脇 不知奈 氏</p> <p>・ 基調講演  「地域課題に基づくソーシャルビジネス創出事例の紹介」  多摩大学 客員教授 亀井 省吾 氏</p> <p>・ 交流会</p>

名称	概要
e-PORT 2.0 個別説明会	<p>日付：平成27年8月28日（金）、9月2日（水）  場所：ヒューマンメディア財団ビル1階「マルチメディアホール」  参加者：8月28日（6名）、9月2日（16名）  内容：e-PORT 2.0についての説明および質疑応答・意見交換</p>
北九州 e-PORT マッチングセミナー	<p>日付：平成27年11月25日（水）  場所：ホテルクラウンパレス小倉  参加者：79名  成果：マッチング件数14件（個別連絡希望数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-PORT チャレンジの仕組みと新たな支援制度  公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター  事務局長 山田 修司</li> <li>・実践型ICT人材育成講座紹介  NPO法人AIP 河野 裕司 氏</li> </ul> <p>&lt;特別講演1&gt;  ○今後のIT総合戦略と地方創生  内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室  内閣参事官 犬童 周作 氏</p> <p>&lt;特別講演2&gt;  ○上場の力で日本を元気に  (株)東京証券取引所 宇壽山 函南 氏</p> <p>&lt;e-PORT パートナーサービス紹介&gt;  ○スマートセキュリティサービス/予約管理アプリサービス  エアドライブ(株)</p> <p>○やるしん（やる気システム診断）  (株)アドックインターナショナル</p> <p>○人事総務・労務管理のトータルサポート/コンサルティング  ひまわり社会保険労務士事務所</p> <p>○商工イントラ  (株)クレオフォートソリューションズ</p> <p>○無線LAN製品とPCサンドボックス  ジェイズ・コミュニケーション(株)</p> <p>&lt;課題・技術シーズ紹介&gt;  ○リラクゼーションシステム  (株)ドーワテクノス・九州歯科大学</p> <p>○MANGAソーシャルコミュニケーションビジネス  (株)コルト</p> <p>○小倉都心部にぎわいづくり  (公財)九州ヒューマンメディア創造センター</p> <p>&lt;交流会&gt;</p>